



# 未来に伸びゆく那覇っ子

～ ともに歩こう ～

令和7年 3月11日発行

校長 新川 美紀

## 「3.11東日本大震災」から14年目の日

今日は、14年前に東北地方沿岸部を中心に甚大な被害をもたらした「東日本大震災」が発生した日です。地震の発生時間が、子供たちの下校時刻に重なっていた午後2時46分だったため、沖縄でも海沿いの学校は津波の影響が予測され、高台にある学校も子供をどう下校させるか…と慌ただしく対応したことを思い出します。14年たった今でもまだ避難所生活をされている方や行方の分からない方も多く聞きます。その影響は続いています。命の大切さや防災意識を高めたいと、本校も給食時間に、放送で子供に教頭先生からお話をしました。

あれから14年が経ち、本校の子供たちはまだ生まれていない時のことですが、今年は4月3日に台湾地震の影響で、春休み中でしたが職員や近隣の学童クラブや住民の方々が屋上に避難をしました。

そこで今年度はPTAや那覇市防災危機管理課、若狭公民館のご協力もあって、災害時の対応や防災講座等を多く行ってきましたが、次年度も内容を考えながら、地域と連携した防災教育が継続していきたいと思えます。

## 防災デイキャンプ in 那覇小

2月28日に、若狭公民館にご協力頂いて最後の防災講座を5～6年生と先生方で一緒に行いました。那覇小は、那覇市の指定避難所に指定されています。今回は、周辺の方々が避難してきた時に、アシスタントとして将来的にはスタッフとして活躍を期待される5～6年生に、那覇小に保管されている災害用備蓄品の1つであるテントの設営を経験してもらうことにしました。テントは19張り備蓄されていて、ランチルームに保管しています。



事前にPTA役員と本校の職員、若狭公民館職員で何度か会議を重ねました。本来は1泊する防災キャンプの中で行うようでしたが、那覇小開催は初めてでもあり、より多くの子供たちに体験させたいと今回は「デイキャンプ」としました。

テント設営では、若狭公民館の館長さん・崎枝さん・平岡さんに説明してもらいました。

## 災害避難時ワンタッチテントの設営

### 防災かるた

【交通安全】【津波】【地震】  
【台風/洪水】【雷】【防犯】  
【火事】【防災の備え】



日頃の備えとして、楽しみながら8つの防災について「耳慣れ」「口慣れ」「見慣れ」してもらいたいと、「防災かるた」を使って特別ルールで活動しました。

ルールは読み手を順番で行い、読み札を2回読んだら、みんなで1回復唱して、取り合います。取った人は、再度1回読みます。わずか1回戦10分でもかなり覚えた子もいました。

「防災かるた」は1セット44枚の6セット作りしました。これからは学級や学年レク等でも活用してください。



テントはパーティーションになっています。テント一緒に備蓄されている簡易ベッドも1つだけ組み立てて紹介しました。

テントは子供でも簡単に建てられますが、片付けるのに少し手間取ります。子供たちは一生懸命頑張ってくれました。